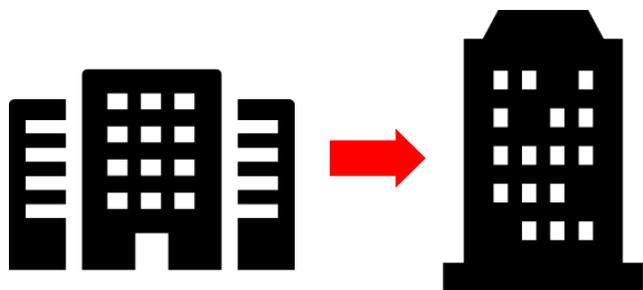


IT業界について



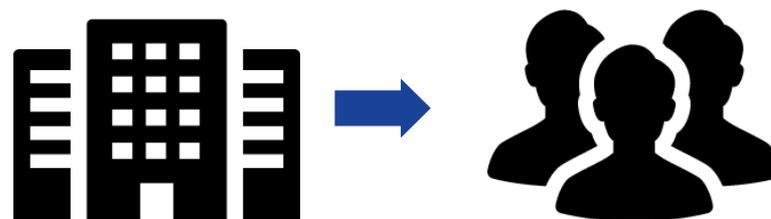
B to B



企業(business)と
企業(business)の取引

- ・ユーザー系
- ・メーカー系
- ・独立系
- ・外資系

B to C



企業(business)と
一般消費者(consumer)の取引

WEB系

システム系の業界マップ

コンピュータ（ハードウェア）メーカーの子会社で、情報サービス業も展開している



メーカー系

別業種の事業親会社の情報システム部門が機能分離したできた



ユーザー系



独立系

親会社を持たず、資本的に独立している

外資系



海外に同業種の事業親会社を持つ

システム系の業界マップ

コンピュータ（ハードウェア）メーカーの子会社で、情報サービス業も展開している

富士通
グループ

東芝
グループ

NEC
グループ

メーカー系

別業種の事業親会社の
情報システム部門が
機能分離したできた



株式会社豊田自動織機
ITソリューションズ

ユーザー系

日鉄
ソリューションズ

伊藤忠テクノ
ソリューションズ

NTT
データ

TIS

大塚
商会

オービック

独立系

親会社を持たず、
資本的に独立している

外資系

マイクロ
ソフト

日本
オラクル

日本
IBM

海外に同業種の事業親会社を持つ

ソフトウェア・IT産業のキーワード



AI（人工知能）

人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラムなどのこと。

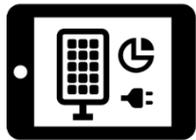


出典：<http://rikeidenki.com/archives/23766490.html>



出典：<https://www.denso-wave.com/ja/recruit/new/photo/index.html>

ソフトウェア・IT産業のキーワード

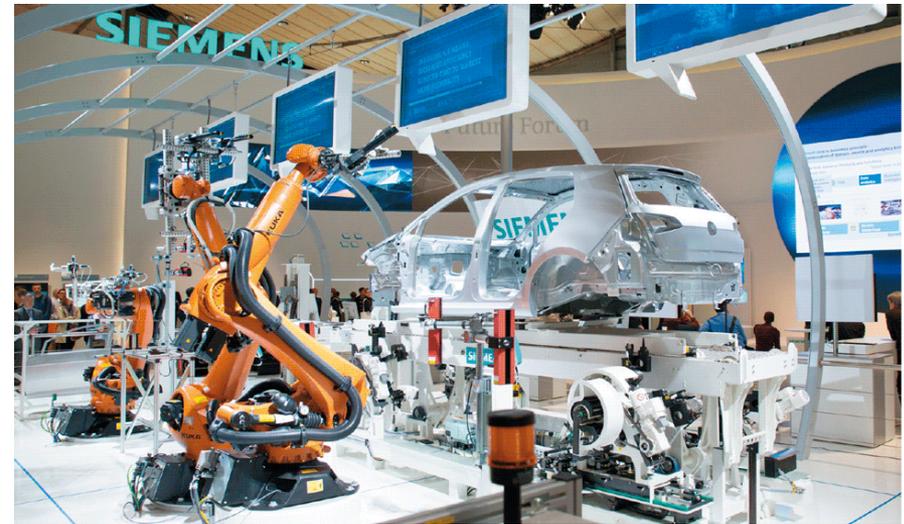


IoT

IoTとは、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。



出典: <https://iotnews.jp/archives/8552>



出典: <https://sgforum.impress.co.jp/article/322?page=0%2C2>

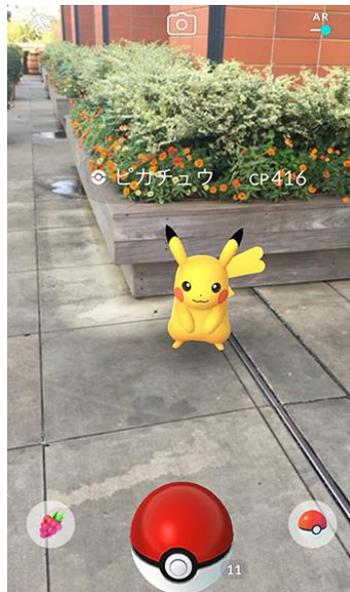
ソフトウェア・IT産業のキーワード



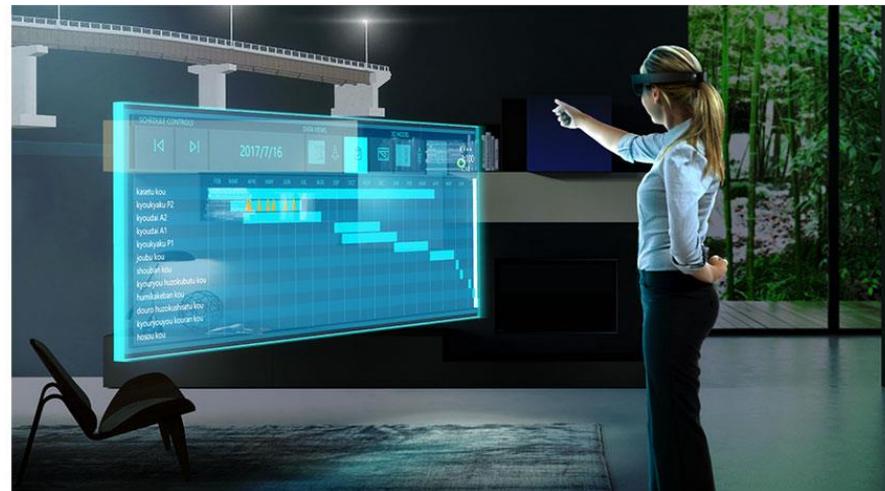
AR・MR

AR (=Augmented Reality) 、 MR (=Mixed Reality)

人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが実質的に現実のように感じられる環境を人工的に作り出す技術であるVRを、現実の世界と融合させる技術。(拡張現実、複合現実)



出典: <http://www.pokemongo.jp/howto/play/>



出典: <https://iotnews.jp/archives/54372>

ソフトウェア・IT産業のキーワード



5G

4Gと比べ通信速度が格段に速まるため、遅延の大幅な短縮により離れた場所でもリアルタイムに近い通信ができるようになるほか、多数同時接続が可能になることでIoTでの幅広い活用ができるようになるなど、多くのメリットが期待されている。

法人向けにも注力し
様々な業界へ提供スタート

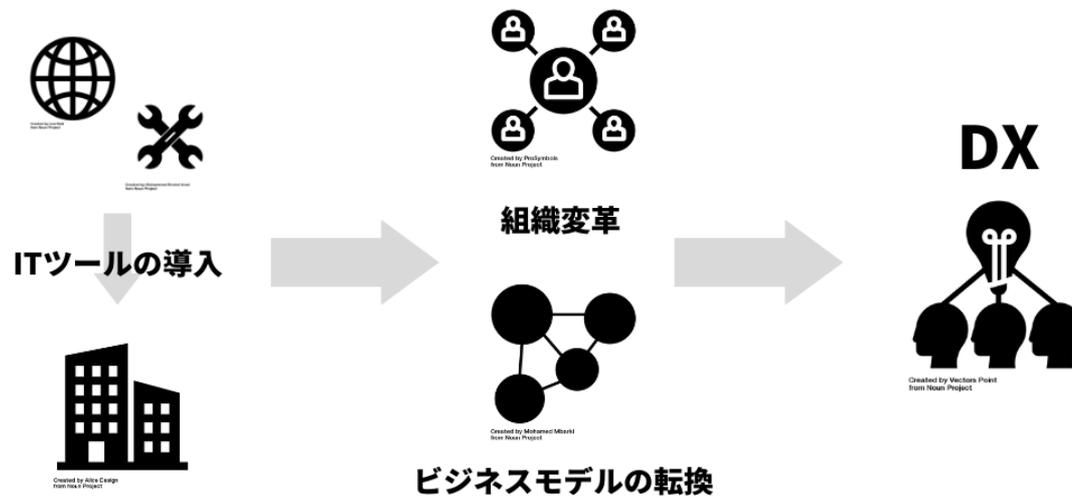
SoftBank **5G**



ソフトウェア・IT産業のキーワード

DX (デジタルトランスフォーメーション)

もともとは「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念を指す。日本におけるDXは、経済産業省の研究会で報告された「DXレポート」で、2025年の崖問題が指摘されたことで一気に周知されるようになった。



自動車業界について



自動車産業の現在と未来



現在、車の販売台数は**約9000万台**
ゆくゆくは**1億2000万台を超える**といわれている

交通インフラが発展した都市部では若者の自動車離れがあるが、
世界的に見れば、**新興国を中心にマーケットは拡大してる。**

日本経済新聞



朝刊・夕刊



ストーリー



Myニュース



日経会社

トップ 速報 マネー 経済・金融 政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際 オピニオン ス

車販売 トヨタ2年分蒸発 今年、世界で1800万台減も 英調査会社が予測

2020/8/27付 | 575文字 [有料会員限定]

 保存  共有  印刷     その他▼

自動車産業は世界的に需要が急減速している。英調査会社IHSマークイットは、20年の世界新車販売台数（中大型バス、トラックを除く）を19年比21%減の7099万台（8月時点）と予測する。コロナ前の1月時点では1%減の8883万台としていたが、世界で影響が深刻化した5月時点には23%減の6919万台まで引き下げた。徐々に戻ってきたが、1年間で約1800万台減の見込みで、販売台数で世界首位の独フォルクスワーゲン（VW）やトヨタの2社分近い年間販売が吹き飛ばし計算になる。

自動車メーカーの比較

1位		フォルクスワーゲングループ 1,097万4,700台	4位		GM(ゼネラルモーターズ) 771万台
2位		トヨタグループ 1,074万2,122台	5位		現代自動車グループ 719万台
3位	 RENAULT NISSAN MITSUBISHI	ルノー・日産・三菱アライアンス 1,015万5,193台	6位		フォード・モーター 538万台
			7位		ホンダ 517万台
			8位		FCA (フィアット・クライスラー) 441万台
			9位		PSA (プジョー・シトロエン) 348万台
			10位		ダイムラー 334万台

自動車メーカーの比較

2020年度上期 世界自動車販売台数ランキング

1位 :		トヨタグループ	416万台
2位 :		フォルクスワーゲングループ	389万台
3位 :		ルノー・日産・三菱アライアンス	345万台

出典：日本経済新聞

自動車業界のトレンド

CASE

- C : Connected (コネクティッド)
- A : Autonomous/Automated (自動化)
- S : Shared (シェアリング)
- E : Electric (電動化)



出典: <http://smatu.net/2017/07/20/self-driving-level-0-level-5/>

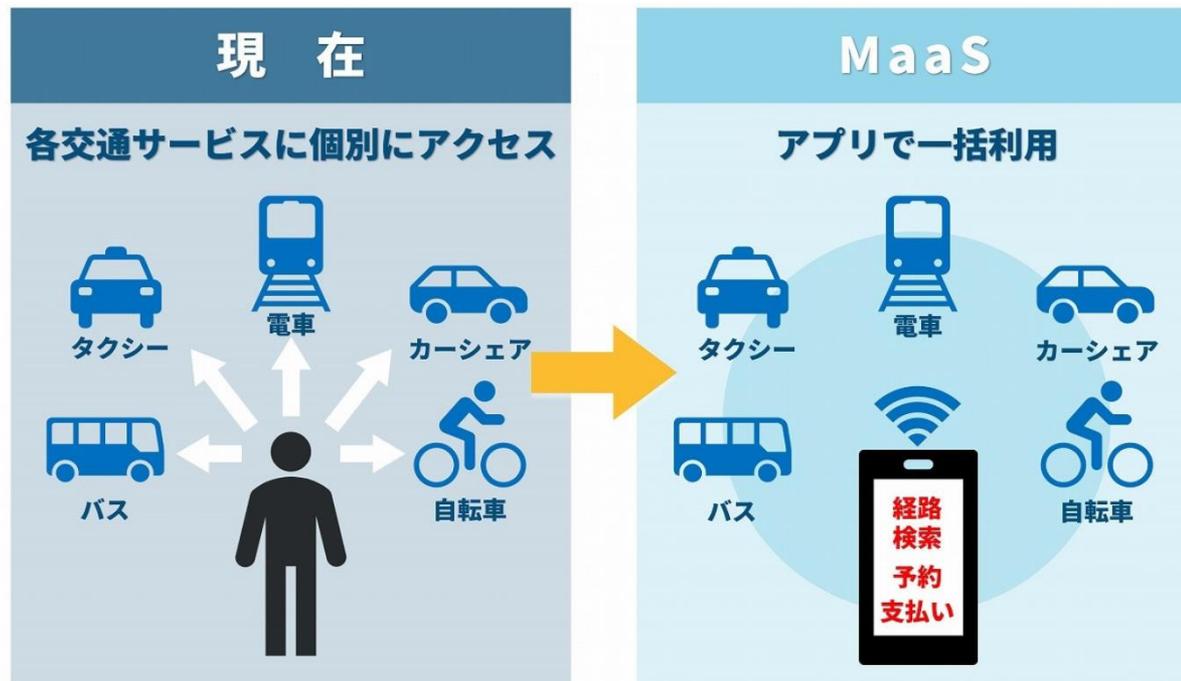


出典: <https://www.afpbb.com/articles/-/3291455>

自動車業界のトレンド

MaaS (マース : Mobility as a service)

「ICT (情報通信技術) を活用してマイカー以外の移動をシームレスにつなぐ」という概念



自動車業界のトレンド

自動運転



【運転支援】	レベル1	システムがステアリング操作、加減速のどちらかをサポート
【運転支援】	レベル2	システムがステアリング操作、加減速のどちらもサポート
【自動運転】	レベル3	特定の場所でシステムが全てを操作、緊急時はドライバーが操作
【自動運転】	レベル4	特定の場所でシステムが全てを操作
【完全自動運転】	レベル5	場所の限定なくシステムが全てを操作



出典: <http://smatu.net/2017/07/20/self-driving-level-0-level-5/>



出典: <https://s.response.jp/article/img/2018/03/14/307221/1285369.html>

日本経済新聞



朝刊・夕刊



ストーリー



Myニュース



日経会

トップ 速報 マネー 経済・金融 政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際 オピニオン ス

自動運転、中国勢が猛追 米加州の公道試験ランキング

3位ポニー、走行距離前年の11倍 4位百度、めざすは世界標準

2020/4/8付 | 1504文字 [有料会員限定]

 保存  共有  印刷     その他▼

自動運転の技術開発の中心地とされる米カリフォルニア州で、中国系企業の活動が活発になっている。2019年の公道試験の走行距離のランキングでは米国勢を押しよけ、中国のスタートアップの小馬智行（ポニー・エアアイ）が3位、ネット大手の百度（バイドゥ）が4位に入った。米中のハイテク競争が激しくなる中、意外にも自動運転分野では中国勢が米国で実績を積み上げる。米中で先頭を競う構図が鮮明になりつつある。

業界について / 自動車産業の現在と未来



米カリフォルニア州での自動運転車の公道走行試験の実績
(2018年12月～19年11月)

順位 (前年)	社名 (主な拠点の所在地)	走行距離 (キロメートル)	介入頻度 (キロメートル/回)
1(1)	ウェイモ(米国)	234万201	2万1274
2(2)	GMクルーズ(米国)	133万7426	1万9668
3(9)	小馬智行(ポニー・エア、中国)	28万1386	1万422
4(8)	百度(バイドゥ、中国)	17万4292	2万9049
5(6)	ニューロ(米国)	11万661	3254
6(5)	ズークス(米国)	10万7852	2569
7(一)	リフト(米国)	6万9091	42
8(7)	オートX(中国)	5万1586	1万7196
9(22)	ダイムラー(独)	2万2914	11
10(4)	オーロラ(米国)	2万1613	153
11(25)	滴滴出行(ディディ、中国)	1万8877	2359
12(3)	アップル(米国)	1万2141	190

13(17)	エヌビディア(米国)	1万1616	18
14(18)	エアアイモーティブ(ハンガリー)	9746	375
15(10)	広州文遠知行科技(ウィーライド、中国)	9522	245
16(一)	トールドライブ(韓国)	8190	303
17(15)	ドライブ・エア(米国)	6396	85
18(21)	セレス(中国)	5621	40
19(20)	ヌルマックス(中国)	3911	56
20(31)	ガティック(米国)	3792	190
21(14)	日産自動車(日本)	3665	77
22(24)	上海汽車集団(中国)	3588	90
23(29)	クアルコム(米国)	3483	93
24(11)	智加科技(プラス・エア、中国)	3026	1513
25(27)	トヨタ自動車(日本)	2924	1

自動車業界のトレンド



シェアリング

カーシェアリング・ライドシェア

所有する「自家用車」ではなく、共有する「移動体（モビリティ）」へモノに対するサービスではなく、サービスのためにモノがある時代へ
DCMなどコネクテッドカーの技術×他業種との協業



出典：<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO23944900X21C17A1T11000/>



出典：<https://www.businessinsider.jp/post-159655>

自動車業界のトレンド

日本経済新聞

小中大 記事利用について  印刷

トヨタ・ソフトバンク、移動データ活用で提携 新会社で新サービス創出

2018/10/5付 | 日本経済新聞 朝刊

トヨタ自動車とソフトバンクグループは4日、自動運転など次世代車の事業展開で提携すると発表した。車の開発や安全技術で世界首位を競うトヨタと、各国でシェア事業者に出資するソフトバンクが手を組み、次世代分野で主導権を狙う。人工知能（AI）など技術進展を背景に、あらゆる産業でデータが企業の価値を高める時代。米Googleなど異業種が存在感を増す自動車産業でも、データを巡る覇権争いが本格化する。（関連記事企業1面に）

自動車業界のトレンド

「コネクティッド・シティ」プロジェクトをCESで発表



出典: https://ligare.news/story/ces2020_toyota_woven-city/



出典: <https://kurukura.jp/next-mobility/20200407-60.html>